

UNIと日本—UNI-LCJapan

UNI-LCJapan (UNI日本加盟組織連絡協議会)は日本のUNI加盟組織がUNI活動への対応を検討したり、意見調整をしたり、また力をあわせて国際活動を展開するための国内の協議会です。UNI結成に併せて2000年1月に発足し、12組織、103万2200人が加盟しています(2013年2月現在)。また、UNI/UNI Aproと緊密に連携した活動を進めています。

UNI-LCJapanは毎年1回、2月に年次総会を開催し、活動計画および予算の討議・承認を行い、2年毎に役員を選出を行います。総会での決定に基づき、運営・活動に関わる事項は、12構成組織、23名の委員から成る運営委員会で討議・実施されています。

日本の加盟組織は、UNIおよびUNI Aproにおいて重要な地位を占め、意思決定のプロセスに関わり、アジア太平洋地域におけるUNIの活動を促進しています。また、UNIおよびUNI Aproと協力し、各国協議会とのネットワークを通じてモンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム、インドなどでセミナーを開催してきました。



UNI-LCJ 幹部会メンバー



ジェニングス UNI 書記長(左)、ウン UNI Apro 地域書記長(中央)が自動車総連本部を訪問。相原 UNI-LCJ 新議長(左から2人目)と



UNI Apro 商業部会委員会 (2012年6月、東京)



UNI 世界 ICTS 部会創設大会 (2011年10月、メキシコシティ)



UNI 世界郵便・ロジスティクス大会部会大会 (2011年9月、ワシントン)



UNI Apro 金融部会委員会 (2011年7月、マニラ)



UNI 世界メディア部会大会 (2011年11月、メキシコシティ)



UNI 世界印刷部会 竹井全印刷委員長(左) ウォルシュ前局長(右)

UNI global union

UNIはスキル及びサービス労働者のためのグローバルユニオン。世界900労組、2000万人が加盟。

UNI-LCJapan

UNI-LCJapan (UNI日本加盟組織連絡協議会)は、日本のUNI加盟組織がUNI活動への対応を検討したり、意見調整をするための国内の協議会。UNI統合に併せて2000年1月に発足し、現在12組織、100万人以上が加盟。

UNI global union

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-6 全電通会館6F
Tel: 03-3219-2159
Fax: 03-3257-0839
tokyo@uniglobalunion.org
<http://tokyo.uniglobalunion.org>

Nagasaki to Cape Town
Breaking Through



UNI 新時代の幕開け ～長崎からケープタウンへ～

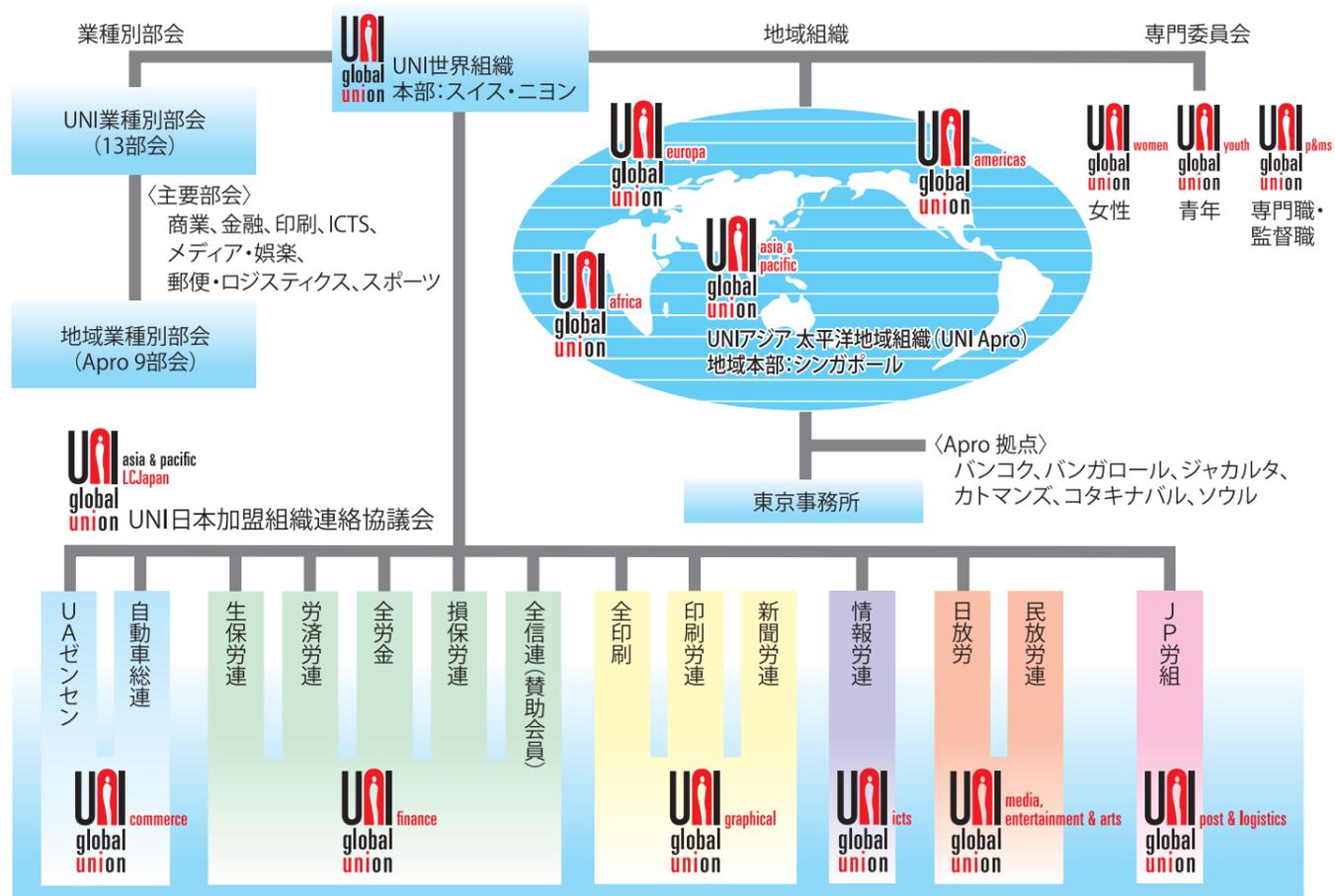
UNIグローバルユニオンは、世界150カ国、900労働組合、2000万人のサービス産業労働者を結集しています。UNIは2000年1月、「グローバル経済に人間の顔を(People First)」をもたらすために、結成されました。

その後、UNIは躍進につぐ躍進を果たしました。多国籍企業とのグローバル協定締結、インドやインドネシアをはじめ急速に発展する新興国における組織化、G20、EUやASEANなど国際機関におけるプレゼンス強化と関係づくりなど、着実に成果を挙げてきました。最近ではアラブの春への関与があげられます。UNIは変化に乗り遅れることなく、突破口を開いてきました。

2010年11月に日本の長崎で開催された第3回UNI世界大会では、「ブレイキングスルー(突破)」をテーマに世界87か国から、335組合、2,063名もの参加者が結集しました。グローバル化、市場の自由化、格差の拡大など、労働者を取り巻く環境が不安定化する中、UNIは長崎世界大会でブレイキングスルー戦略計画を採択しました。この活動指向の戦略により、グローバルな労働市場において労働者を代表し、影響力を高めていくことを目指しています。そして、すべての意思決定機関において40%の女性代表を達成するという新たな目標を掲げました。また平和推進のシンボルである長崎での大会開催により、世界に核兵器の脅威を再認識させ、警鐘を鳴らすことができました。

UNIは国際連帯を更に強化し、2014年にケープタウンで開催予定の第4回UNI世界大会に向けて邁進し続けます。





UNIの組織機構

UNIの最高議決機関は4年毎に開催される世界大会です。世界大会では、基本となる活動方針が決定される他、世界執行委員を始め、会長、書記長などの役員が選出されます。第1回世界大会は2001年9月、ベルリンで開催され、日本からは約100名の代表団が参加しました。第2回世界大会は2005年8月、シカゴで開催されました。第3回世界大会は、UNI10周年を記念して特別に2010年11月長崎で開催され、2000人を越える参加者が世界中から集まりました。そして、第4回世界大会は2014年に、ケープタウンで開催される予定です。

世界執行委員会は年1回開催され、大会から大会までの重要事項を審議・決定します。執行委員は世界の各地域が代表されるように、地域毎に選出されます。世界大会、世界執行委員会での決定を実施に移す最高執行責任者は書記長で、スイス・ニヨン本部事務局の業務統括責任者でもあります。

UNIには「地域組織」、「業種別部会」、業種を横断する「専門委員会」という3つの機構があります。加盟組織はそれぞれの国の所在地により地域組織に所属し、関係する業種により業種別部会に参加します。

アジア太平洋地域組織—UNI Apro

UNIアジア太平洋地域組織（UNI Apro）の地域事務所はシンガポールに置かれ、その下にUNI Apro東京事務所が設けられています。アジア太平洋地域では、今日、働く者を保護しながらいかに経済発展を実現するかが大きな課題となっています。APEC、ASEANなど地域経済統合が安定して発展するためには民主的な労働組合の存在が不可欠です。日本のUNI加盟組合は、UNI Aproの活動を継続的に支援し、アジア太平洋地域におけるパートナーシップ労使関係の定着に貢献することが求められています。

UNI Aproは他の国際産別組織と緊密に連携し、ASEANおよびASEAN事務局との社会的対話の機構として、ASEANサービス労組協議会（ASETUC）を発展させました。今後、ASETUCがASEANから正式なパートナーとして認知されるよう、更に働きかけを強化します。



UNI-LCJ / インド加盟協セミナー (2011年11月、ムンバイ)

UNI-LCJapan 新アクションプランを採択！

日本のUNI加盟組合組織の協議会であるUNI-LCJapanの加盟組合員数は100万人を超え、現在では103万2200人です。2008年株式会社高島屋と日本初のグローバル協定締結に成功し、日本の労働運動に新しいモデルを提示しました。さらにユース英語セミナーを2006年以来開催し、300名以上の仲間が参加しました。これらは日本における国際労働運動の新しいモデルであり、国際的にも高い評価を得ています。その上第3回UNI世界大会を成功裏に実現し、UNI-LCJapanは国際的にも国内的にも生成期に入ったといえます。

UNI-LCJapanはUNIの運動をさらに発展させるべく、アクションプラン2011～2014年を採択し、①パートナーシップ労使関係のアジア太平洋地域における普及、②組織拡大、③国際労働運動を担う次世代の育成という3つの中期的課題を掲げています。



UNI-LCJ / フィリピン加盟協青年・女性セミナー (2011年7月、マニラ)



第11回UNI-LCJユース英語セミナー (2011年10月、沖縄)



第3回UNI Apro 地域大会でアキノフィリピン大統領と (2011年7月、マニラ)



UNI-LCJ / モンゴル加盟協セミナー (2011年8月、ウランバートル)



UNI が主催した「世界アスリート・サミット」には、日本プロ野球選手会代表も参加、世界スポーツ選手組合連盟を設立。(2011年11月、ニヨン)